

四代目天龍橋竣工

盛大に渡り初め



県道米川飯田線の新しい天龍橋が竣工し、天竜川右岸の龍江側の特設会場で関係者約百二十人が参加し開通式が行われました。神事に引き続き行われた開通式では、主催者である県道改良期成同盟会会長が「交通の利便性はもとより地域産業や経済効果、三遠南信自動車道へのアクセス道路として活躍が期待できる」とのあいさつがあり、施工者である長野県建設部長が「道路は生活を支える基盤で

四代目天龍橋の竣工式が十四日、盛大に行われました。記念行事には竜丘龍江の両地区の住民約千人集まり、晴天に映える真つ赤なアーチの下を歩き開通を喜びました。

あり真に必要な道路整備を今後も進める」とあいさつがありました。来賓祝辞の後のアトラクションでは、時又保育園の園児によるマーチングバンド「勇氣100%」の演奏、龍江一区大獅子保存会と龍江いおり会が獅子舞を披露しました。テープカットとくす玉割りに続き、丈夫で長持ちするようにと、宮司と三世代の夫婦三組を先頭に渡り初めをしました。宮司

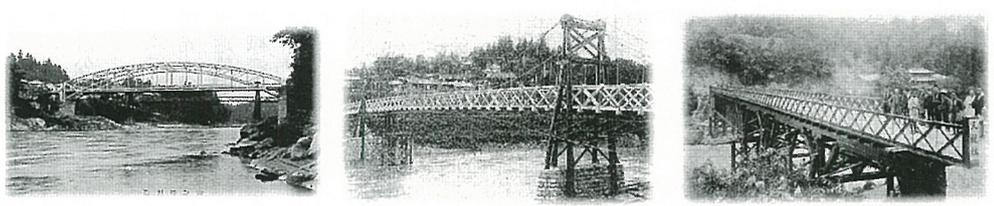
が新しい橋を清め、その後三世代夫婦や式典出席者、飯田商工会竜峽ブロックが配布した色とりどりの風船を手にした園児、地元住民などが続いて渡りました。橋の上で獅子舞が舞を舞うなどお祝いムードが盛り上がり、多くの方がカメラを向けていました。家族連れなど多くの住民が、真新しい橋の歩き心地と周囲の景色を楽しんでいました。また、名残惜しむように三代目天龍橋で記念撮影をする姿も多く見受けられました。その後「初午はだか祭り」で新しい橋のきよい初めが行われ、午後四時に供用が開始されました。

天龍橋は、初代の橋は木造で明治三十年に架橋されました。その後明治四十一年に吊り



四代目天龍橋概要

天龍橋の歴史



三代目天龍橋

二代目天龍橋（吊り橋）

初代天龍橋（木橋）

しかし一日は二分でもなければ半日でもない。一日は二十四時間。決められた中で人は動き動かされている。厳しいと思うが、それが現実。だから、決められた時間の中で時間に追われて必死で働く。必死に働いて、自分のどこかに余裕がポツカリ出たりする。それが出るのは自分次第ではあるが、余裕は大切。時間に追われる日々から余裕が出ると、ようやく自分という個から周りが見えてくる。狭かった視野が、広大になり、温かい色の景色がある事に喜びと心の中に温かさが生まれてくる。春は、人の感覚を不安定にさせる精神的に滅入りそうになる時季でもあるけれど、人の気持ちを穏やかにし、植物を始めとする形のあるものに対し、愛で癒される。無条件に春は人の中で受け入れられているように思う。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,796人
男子	3,330人
女子	3,466人
世帯数	2,272戸
(22年2月末現在)	

竜丘バレーボール連盟三十周年記念事業

「夢への挑戦」

二月二十一日に、飯田市出身で、創造学園大学付属高校バレーボール部監督の壬生義文さんによる「夢への挑戦」子どもとともに目指した日本一」と題した講演会が、竜丘公民館で開催されました。これは、竜丘バレーボール連盟の三十周年記念事業として企画され、約百名の参加者が耳を傾けました。壬生さんは、昭和五十六年から平成十六年までの二十四年間、岡谷工業高校バレーボール部監督を務め、橋として二代目が架橋し、昭和十年に現在の三代目の橋が架橋しました。現在の橋は、橋長八十八メートルの鋼タイドアール橋で、アーチの創り出す曲線美に優れた橋となっています。しかし、架橋から七十四年を経過し、老朽化が進むと共に幅員が狭く大型車のすれ違いが困難な状況から架け替えを行うこととなりました。平成十一年から事業に着手し、架橋する位置について調整が難航するなどしましたが、平成十七年度から本格的な工事に入りました。



(信州日報提供)

ヤフコ

春は何かと忙しく感じる事はありませんか？卒業や年度の締め、新年度準備を始め入学や進学等。当事者にならなければわからない忙しさ。時間を惜しむ程なのに、時間は人を待つことをしてはくれない。時間は毎日休む事もなければ止まる事もなく同じリズムで繰り返しているだけなのに、自分がやる事だけは山積みされて、自分のみの仕事だけがどんどん残されている感覚にさななって気が滅入る。「あれもこれもやらなきゃいけない」「どれから手を付けようか」と悩む。そんな時程、「あともう少し時間があつたら・・・」や「二日がもう二日間分あつたら」と考えずにはいられない。これも人間の欲なんだろうと感じる。

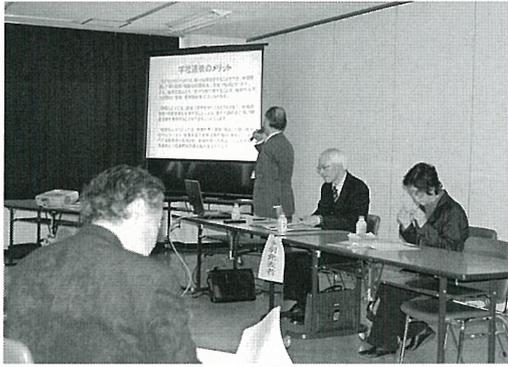
飯田市公民館大会

「明るく 楽しく 元気よく」 が公民館活動の心構え

去る二月二十一日に、第四十七回飯田市公民館大会が、公民館が担うべき役割や、方向性を明確にすることを目的として行われました。

全体会の中で、北沢豊治飯田市公民館長が「人材を育成し、後継者を作ることが大切で、これがひいては地域を良くすることになる。人は変わり時は進んでも必要な事業はいつまでも残り、消えることはない。」とあいさつがありました。

基調講演では、松本大学教授の白戸洋さんによる「明日から何をやるのか」地域住民の学びを通じた人づくり」がテーマで「公民館」と題した講演でした。公民館に、木下和彦、宮坂昌一、竜丘小学校校長より「学社連携」についての取組みの事例発表が行われました。館長より連携に最も必要なこと、メリットが話された後、放課後子ども教室の取組みが報告されました。運動会では、実行委員に緑ヶ丘中学校の生徒



に、木下和彦、宮坂昌一、竜丘小学校校長より「学社連携」についての取組みの事例発表が行われました。館長より連携に最も必要なこと、メリットが話された後、放課後子ども教室の取組みが報告されました。運動会では、実行委員に緑ヶ丘中学校の生徒

住民自治を学びに

JICA研修生との交流

住民参加型の地域社会開発を学ぶため、六カ国十三人のJICA(国際協力機構)研修生が二月十四日から十九日まで飯田市を訪れました。十六日には竜丘公民館で、公民館の組織や具体的な活動について学び、大人の学校との昼食交流会や竜丘小学校五年生との交流が行われました。

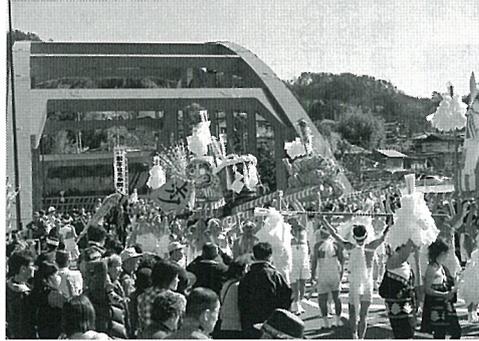


多くの活動が報告されその成果を学ぶ場となりました。多くの活動が報告されその成果を学ぶ場となりました。

好天に恵まれ五十周年

「時又初午はだか祭り」

天竜川に春の訪れを告げる、飯田市時又初午はだか祭りが、三月十四日、時又の長石寺から時又港一帯にかけて、盛大に繰り広げられました。初午はだか祭りは、長石寺の初午まつりと小笠原長清の戦勝御礼参りに由来するといわれ、一時中断されていましたが、昭和三十五年に復活し、今年で五十周年を迎えました。四代目新天龍橋の開通も重なり、今年だけしか見られない特別行事も行われました。当日は天候にも恵まれ、雨空が近づいたなかの久々



の晴天、大勢の見物客が見守る中、みこしを担いだ若衆が「オンスイ!オンスイ!」と掛け声をあげ、長石寺を出発しました。新旧の天龍橋のたもとにみこしの行列が集まると、長石寺の岩堀から浴びて体を清め、

の響くなか、幣束や幟旗で先導し御水で橋を清めると、みこしの行列が橋の上をきおい渡り初めを行いました。一行が時又港に到着すると、天竜川の水を頭から浴びて体を清め、

ジャイカの方と交流をしてみよう



竜丘小学校五年 永山 実来

ジャイカの方との交流がありました。私の班は、タンザニアから来たアロンさんと遊びました。タンザニアの方なので、前の日にタンザニアのあいさつを調べました。タンザニアのあいさつは「ジャンボ」です。さっそくアロンさんに、「ジャンボ」と言ってみました。そしたら、笑って返してくれました。最初はドキドキしていましたが、だんだん慣れてきました。

私の班では、まず「けん



レガスピ市訪問 桐林 宮嶋 聡子

私たちが降り立ったレガスピ空港は、青空の中に北斎の富士をおもわせるようなマヨン火山がその美しい姿を見せてくれました。職務繁多の市長さんへの表敬訪問が叶い、その後、市やNGOによるテクニカルワーキンググループの方たちとの懇談会。続いて完成したプロジェクトの現場を視察。かつて、JICAの研修員として訪日された方たちが中心となりできた施設でした。「母子センター」と

「農業施設で、安心して出産できるようにしたこと、仲間を農業をし、芋の乾燥施設ができたことなど大きな成果としました。次の日、もう一つの支援先プロ地区へ。ここは水道施設が完成し、住民組織により管理運営されており、水道のみにとどまらず、女性・青年の委員会も組織されて活動を始めていました。両地区共、事業及び会計報告、検証まで行われていたのに感じました。市の組織・住民組織ともに参加型地域社会開発の手法が根付いてきて

平成21年度 竜丘地域づくり委員会決算

科 目	決算額	予算額	比較	説明
10 歳入				(単位: 円)
01 会費収入	0	0	0	
02 補助金および交付金	17,220,064	16,933,000	287,064	
1 パワーアップ交付金	5,972,000	5,972,000	0	飯田市からの交付金
2 補助金	4,498,064	4,211,000	287,064	委託金、補助金ほか
3 自治会費	6,750,000	6,750,000	0	竜丘自治会より
03 繰越金	2,841,691	2,841,691	0	前年度繰越金
05 寄付金	0	0	0	
06 預金利息	1,512	2,309	-797	
07 雑収入	606,599	413,000	193,599	手数料、使用料、報償金ほか
歳入合計	20,669,866	20,190,000	479,866	

科 目	決算額	予算額	比較	説明
01 報酬	4,014,232	4,658,000	643,768	
03 手当	99,000	99,000	0	文書配達手当
06 交際費	83,000	130,000	47,000	慶弔費ほか
07 会議費	281,082	240,000	-41,082	諸会議費用
08 消耗品費	490,368	651,000	160,632	事務用消耗品ほか
10 印刷製本費	415,905	470,000	54,095	印刷、コピー料ほか
12 修繕費	40,170	70,000	29,830	施設、備品等の修繕
13 通信運搬費	7,800	48,000	40,200	委員への会議通知ほか
14 手数料	1,938	9,000	7,062	振込手数料ほか
16 賃借料及び使用料	127,260	450,000	322,740	事務機器等借上料ほか
17 維持管理費	34,509	50,000	15,491	大掃除費用ほか
18 備品購入費	174,300	100,000	-74,300	囲碁ボール購入ほか
19 雑費	108,900	171,000	62,100	収入印紙ほか

科 目	決算額	予算額	比較	説明
01 総務企画委員会費	12,948,507	13,213,000	264,493	
01 総務企画委員会費	3,748,824	3,880,000	131,176	
10 事業運営費	3,046,624	3,880,000	131,176	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	3,444,200	3,350,000	-94,200	補助金等
02 安全委員会費	1,533,730	1,700,000	166,270	
01 交通安全全部会費	329,967	460,000	130,033	
10 事業運営費	29,967	160,000	130,033	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	300,000	300,000	0	活動費(区委員会へ)
02 生活安全全部会費	1,203,763	1,240,000	36,237	
10 事業運営費	853,763	890,000	36,237	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	350,000	350,000	0	活動費(区委員会へ)
03 福祉健康委員会費	2,993,137	2,779,000	-214,137	
01 地域福祉部会費	2,779,877	2,605,000	-174,877	
10 事業運営費	2,524,877	2,350,000	-174,877	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	255,000	255,000	0	市社協1号会費
04 環境委員会費	1,198,387	1,394,000	195,613	
01 環境委員会費	1,198,387	1,394,000	195,613	
10 事業運営費	436,283	644,000	207,717	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	762,104	750,000	-12,104	活動費(区委員会へ)
05 公民館費	3,474,429	3,460,000	-14,429	
01 公民館費	3,474,429	3,460,000	-14,429	
10 事業運営費	1,910,429	1,860,000	-50,429	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,564,000	1,600,000	36,000	分館補助金、助成金、その他
03 予備費	0	1,919,000	1,919,000	
04 積立金	400,000	400,000	0	
歳出合計	17,362,739	20,190,000	2,827,261	

次年度繰越金 3,307,127

「農業施設で、安心して出産できるようにしたこと、仲間を農業をし、芋の乾燥施設ができたことなど大きな成果としました。次の日、もう一つの支援先プロ地区へ。ここは水道施設が完成し、住民組織により管理運営されており、水道のみにとどまらず、女性・青年の委員会も組織されて活動を始めていました。両地区共、事業及び会計報告、検証まで行われていたのに感じました。市の組織・住民組織とともに参加型地域社会開発の手法が根付いてきて

必要を感じ、帰飯しました。いと感じました。今、私たちも原点にかえり、住民参加の自治について考える必要を感じ、帰飯しました。



レガスピ市長を表敬